

レジメン名 CyBorD変法

出典 ベルケイド適正使用ガイド2012年12月作成  
Leukemia.2009 July;23(7):1337-1341  
CyBorD PIANO試験

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患 多発性骨髄腫  
進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
初発

投与減量の基準

その他 Grade3の血液毒性とGrade1の膀胱炎が起きたら、day22のエンドキサンは中止。次コース以降もエンドキサンは投与期間短縮したままで、同じ副作用が出たら、day15も中止。その後も同じ副作用が出たらday8も中止。  
Grade3以上の末梢神経障害や神経因性疼痛が発現した場合には、回復するまで休薬。その後、減量して再開。減量の目安は以下の通り。  
1.3mg/m<sup>2</sup>→1.0mg/m<sup>2</sup>→0.7mg/m<sup>2</sup>

1クール期間 28日 総クール数 12クール  
(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

ANC	1000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	10万/mm <sup>3</sup> 未満
Hb	8.0g/dL未満	AST,ALT	100IU/L以上
T-bil	1.8mg/dL以上	Cr	3.5mg/dL以上
その他	Grade3以上の膀胱炎		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ボルテゾミブ(ベルケイド)	1.3mg/m <sup>2</sup>	NS適量	皮下注射	d1、8、15、22
シクロホスファミド(エンドキサン)	300mg/m <sup>2</sup>	経口		d1、8、15、22
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		d1、8、15、22

**1日投与順**  
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶解液まで含む)

d1、8、15、22  
 ①ベルケイド1.3mg/m<sup>2</sup>+生食適量(皮下注射)  
 ②エンドキサン300mg/m<sup>2</sup>  
 ③レナデックス40mg